

(5) 東部地域 ～わたらせの水と土に未来をのせて～

「水」の保全整備

- 老朽化した農業水利施設の補修・補強・更新を適切に行うことにより、東部地域の農業を支えてきた農業水利施設を保全し、安定的な食料生産を支える。
- 農業水利施設の管理主体である土地改良区の体制強化の取り組み及び維持管理費軽減対策を支援し、地域農業の安定を図る。

【当該年度評価の総括】

1 農業水利施設の保全

- 管内の基幹水利施設を管理する6土地改良区に対し、機能保全計画書に基づく施設監視を実施し、指導を行った。
- 大間々用水地区及び深沢川頭首工地区において、協議・調整及び改修工事を進め、深沢川頭首工地区においては、事業完了となった。

2 施設管理者の体制強化

- 土地改良区体制強化基本計画を策定した13土地改良区において、強化基本計画の着実な実施に向けた支援を行った。
- 業務継続計画（BCP）を策定した7土地改良区において、BCPの実行のための支援を行った。

3 農業用水の活用（小水力）

- 小水力発電所の2施設の稼働状況を把握するとともに、適切な発電事業会計が行われるよう助言・指導を行った。

◆ 管理の適正化

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 県管理施設の適切な維持管理 ----- 2地区を実施 ※ 太田頭首工、邑楽頭首工 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 県管理施設の適切な維持管理 ----- 2地区を実施 ※ 太田頭首工、邑楽頭首工 	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・関係土地改良区と連携して、適時適切な維持管理や施設の運用を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・関係土地改良区と連携して、適時適切な維持管理や施設の運用を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
県管理施設の適正な維持・保全 [地区]						
目 標	—	—	2	2	2	2
実 績	2	2	2	2	2	2

※ 数値は、単年度取組数。

◆ 農業水利施設の保全

・施設監視の継続実施

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 機能保全計画に基づく、施設監視 ----- 6 土地改良区を指導・支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、大間々用水、 邑楽、利根加用水	▶ 機能保全計画に基づく、施設監視 ----- 6 土地改良区を指導・支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、大間々用水、 邑楽、利根加用水	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・農業水利施設を管理する 6 土地改良区と連携し、基幹水利ストックマネジメント事業により策定した機能保全計画(施設監視計画)に基づく定点監視を実施するとともに、監視に対する指導を行った。		
現状分析課題今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き、機能保全計画に基づく定点監視の指導を実施するとともに、保全対策が必要と判断される施設については、保全対策に取り組むよう支援・指導を行う。		

・農業水利施設の保全対策の推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策 ----- 2 地区を実施 ※ 大間々用水、深沢川頭首工	▶ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策 ----- 2 地区を実施 ※ 大間々用水、深沢川頭首工	D
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・大間々用水地区については、残事業内容の精査と関係との協議調整により、事業計画の変更を行った。 ・深沢川頭首工地区は、2 期工事を実施し、事業が完了した。		
現状分析課題今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・藤川用水地区は、機能保全計画の更新に伴い対策年度が延期となり、令和 2 年度着手予定である。 ・大間々用水地区は、関係との協議調整により、来年度早期の工事発注を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
農業水利施設の機能保全計画に基づく施設監視の継続実施 [地区]						
目 標	—	—	6	6	6	6
実 績	6	6	6	6	6	6
基幹農業水利施設の保全対策に着手した地区数 [地区]						
目 標	—	—	2	3	4	5
実 績	—	1	2	3	3	3
保全対策により農業用用水の安定供給が図られた農地面積 [ha]						
目 標	—	—	358	739	1,403	1,970
実 績	—	—	138	588	764	871

※ 数値は、累計値。

◆ 施設管理者の体制強化

・体制強化基本計画の策定

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 土地改良区体制強化基本計画の推進 13 土地改良区の計画進行管理支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、阿左美沼、大間々用水、早川、上野、勢多郡東村、邑楽、近藤沼、赤郷台地、板倉台地、利根加用水	▶ 土地改良区体制強化基本計画の推進 13 土地改良区の計画進行管理支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、阿左美沼、大間々用水、早川、上野、勢多郡東村、邑楽、近藤沼、赤郷台地、板倉台地、利根加用水	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・土地改良区体制強化基本計画の着実な実施に向け、課題や困難な点の聴取や複式簿記に関する助言を行うなどの支援を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き基本計画の着実な実施に向け、個別指導を行うとともに東部土地改良区ネットワークの活用を通して支援を行う。		

業務継続計画の策定

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 業務継続計画 (BCP) 実行の支援 ----- 7 地区を支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、大間々用水、勢多郡東村、邑楽、利根加用水	▶ 業務継続計画 (BCP) 実行の支援 ----- 7 地区を支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、大間々用水、勢多郡東村、邑楽、利根加用水	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・業務継続計画策定済みとなった 7 土地改良区に対し、業務継続計画 (BCP) の実行のための支援を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・土地改良区の巡回を通じて、業務継続計画 (BCP) の実行のための課題や困難な点を聴取し、個別指導を行うとともに東部土地改良区ネットワークの活用を通して支援を継続する。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
土地改良区体制強化基本計画を策定した土地改良区数 [土地改良区]						
目 標	—	—	13	13	13	13
実 績	—	—	13	13	13	13
業務継続計画を策定した土地改良区数 [土地改良区]						
目 標	—	—	—	1	5	7 (4)
実 績	—	—	1	5	7	7 (4)

※ 数値は、累計値。

※ 実績値が H31(R 元)目標値を超えた場合、次年度の目標値に前年度の実績値を標記し、当初目標値を括弧で標記。

◆ 農業用水の活用(小水力)

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 小水力発電施設の運営支援 ----- 2地区を支援 ※ 矢場、大間々用水	▶ 小水力発電施設の運営支援 ----- 2地区を支援 ※ 矢場、大間々用水	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・それぞれの発電事業者から各月の発電量について情報提供してもらい、発電の状況把握を行った。 ・発電事業会計の見直しに係る情報提供を行うとともに、適切な会計となるよう助言・指導を行った。		
現状分析課題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き、適切な発電会計の処理が行われるよう助言・指導を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
農業用水を活用した小水力発電施設の稼働数 [施設]						
目 標	—	—	—	1	1	2
実 績	—	—	—	1	1	2

※ 数値は、単年度取組数。最終年度のみ累計値。

「土」の保全整備

- ▶ 農業競争力強化を図るべく地域の実情に即した生産性の高いほ場整備を行い、営農効率向上に有効な農地の面的集積・集約化を推進する。
- ▶ 市町の被害防止計画に基づき行う野生鳥獣被害防止対策を支援し、耕作放棄地の発生を未然に防ぐ。

【当該年度評価の総括】

1 農地の有効利用と意欲ある担い手の育成のための基盤整備

- ▶ 五箇谷地区では、未同意者の対応を地元と検討しつつ、区画整理(15.7ha)を実施した。

2 水田再整備

- ▶ 簡易ほ場整備1地区の支援を行い、18.0haの区画拡大を図った。

3 野生鳥獣被害防止

- ▶ 鳥獣被害防止柵の設置を支援し、野生鳥獣による農作物への被害軽減を図った。

◆ 農地の有効利用と意欲ある担い手の育成のための基盤整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業生産性の向上と担い手への農地集積を促進するための基盤整備 ----- 2地区の基盤整備を実施 ※ 五箇谷、下江黒	▶ 農業生産性の向上と担い手への農地集積を促進するための基盤整備 ----- 2地区の基盤整備を実施 ※ 五箇谷、下江黒	D
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・五箇谷地区は事業未同意者の同意取得に向けた協議・調整を行うとともに、来年度以降の工事予定箇所の設計等を進めた。 ・下江黒地区は、土地改良区設立や換地原案のとりまとめに係る支援を行うとともに、来年度以降の工事箇所の設計等を取りまとめた。 ・五箇谷地区における事業未同意対応などにより、目標としていた整備面積に達しなかった。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・五箇谷地区は、上期の工事発注に向けた準備を行うとともに、事業未同意者に対し、地元と連携し、同意取得を目指す。 ・下江黒地区は、年度内の換地原案作成・同意取得および来年度からの工事着手に向け実施設計の年度内完成を目指す。 ・五箇谷地区における事業未同意対応などにより、目標としていた整備面積に達しなかった。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
区画整理による整備面積(水田・畑)[ha]【4年間】						
目 標	—	—	12.3	35.3	58.3	95.0
実 績	—	—	11.2	20.4	26.0	41.7

※ 数値は、累計値。

◆ 水田再整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 畦畔除去による農地拡大 ----- 1地区の10a区画拡大を支援 ※ 城沼	▶ 畦畔除去による農地拡大 ----- 1地区の10a区画拡大を支援 ※ 城沼	B
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・区画拡大に向けた畦畔除去の実施について、事業主体に支援を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・効率的な生産基盤の確保を図るため、農地拡大にむけた取り組みを支援する。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
10a区画水田の農地拡大をした面積[ha]【4年間】						
目 標	—	—	18.7	40.0	60.0	80.0
実 績	—	—	26.4	38.9	49.2	67.2

※ 数値は、累計値。

◆ 野生鳥獣被害防止

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 1市を支援 ※ 桐生市	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 1市を支援 ※ 桐生市	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・電気柵 L=2,032m が小規模農村整備事業によって設置された。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・設置要望があった場合には、事業の緊急採択等により迅速な対応を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
野生鳥獣被害防止対策を支援した市町村 [市町村]						
目 標	—	—	1	1	1	2
実 績	(2)	—	2	1	1	2

※ 基準年の () 内は、過去4年間 (H25~27) の実績であり、4年間で同数の実施・支援を目指した。
 数値は、単年度取組数。なお、最終年度は市町村 (年度の重複を除く) の累計値。

「里」の保全整備

- ▶ 近年の集中豪雨、台風等に起因した農地の湛水被害が防止できるよう、地域排水対策を実施し、安定的な食料生産が維持できるよう取り組みます。
- ▶ 自然災害及び老朽化などにより周辺地域に被害を及ぼす恐れのある「ため池」の点検診断を行い、安全で災害に強い農村づくりを目指します。

【当該年度評価の総括】

1 安全な農村づくり

- ▶ 大久保地区は、湛水被害対策のための排水路工事を進めた。また、洪水調整池の造成に必要な用地測量を行い、次年度早期に用地買収が出来るよう準備した。

2 災害に強い農村づくり

- ▶ 太田市・みどり市における農業用ため池の耐震性能の確認とハザードマップ作成を支援した。
- ▶ 農業用ため池における防災減災を図るため、早川貯水池地区の改修工事を実施した。

◆ 安全な農村づくり

・排水路の整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 湛水被害対策のための農業用排水路の整備 ----- 排水施設整備工事を実施 ※ 大久保	▶ 湛水被害対策のための農業用排水路の整備 ----- 排水施設整備工事を実施 ※ 大久保	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・大久保地区は、地元及び関係機関との調整を行い、本年度計画していた排水路の工事を実施した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・工事を実施した区域について、湛水被害防止の効果が図れた。 ・次年度以降の工事実施に必要な用地買収交渉を行い、用地の取得を進める。		

・排水管理の維持・充実

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 水管理施設の更新整備 ----- 1地区の実施 ※ 渡良瀬川中央	▶ 水管理施設の更新整備 ----- 1地区の実施 ※ 渡良瀬川中央	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・効率的な排水管理を行うため、水管理システムの子局の改修や追加整備を実施した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・水管理システムのより効率的な排水管理を行うため、子局の改修や追加工事を実施する。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
湛水被害防止面積 [ha]						
目 標	—	—	—	4.8	11.6	17.8
実 績	—	—	—	5.5	12.1	19.0

※ 数値は、累計値。

◆ 災害に強い農村づくり

・ため池における耐震性能の確認

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 耐震性点検調査 ----- 2地区(18施設)を支援 ※ 太田4(16施設)、みどり1(2施設)	▶ 耐震性点検調査 ----- 2地区(7施設)を支援 ※ 太田4(6施設)、みどり1(1施設)	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・防災重点ため池再選定結果を踏まえ今年度の調査施設数の見直しを行い、調査が必要な8施設の内、7施設の耐震性能を確認した。 ・国営調査で対応している1施設については、地質調査を完了した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・耐震調査が必要な1施設については、令和2年度の早期に耐震性能解析を完了するよう、国と調整する。		

・ハザードマップ作成の支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ ため池のハザードマップ作成 2地区(15ヶ所・18施設)を支援 ※ 太田1(13ヶ所・16施設)、 みどり1(2施設)	▶ ため池のハザードマップ作成 2地区(6ヶ所・11施設)を支援 ※ 太田1(4ヶ所・8施設)、 みどり1(2ヶ所・3施設)	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・防災重点ため池再選定結果を踏まえ作成箇所の見直しを行い、作成が必要な11施設全てについて、ハザードマップの作成が完了した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・関係市と連携して作成したハザードマップを地域住民に周知するとともに、地震時の地域の安全を確保するための管理体制の整備を推進する。		

・防災重点ため池の改修

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ ため池の健全度確保のための整備 ----- 1地区を実施 ※ 早川貯水池	▶ ため池の健全度確保のための整備 ----- 1地区を実施 ※ 早川貯水池	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・堤体の長期的な健全度確保のため、堤体表層部の補修補強等のため池改修を行い、下流域への防災減災機能の向上を図った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・早川貯水池は、年度内に緊急整備工事が完了したことにより、ため池の健全度確保が出来た。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
耐震性能を確認したため池数 [地区]						
目 標	—	—	11	14	17	20
実 績	2	3	11	14	19	28
ハザードマップの作成を支援したため池数 [ため池]						
目 標	—	—	10	13	16	19
実 績	—	—	10	14	19	29
耐震性能を確認した農業水利施設(ため池除く)数 [施設]						
目 標	—	—	—	22	48	48
実 績	—	—	—	34	48	48

※ 数値は、累計値。

「協働」

- ▶ 農地・農業用施設などの資源や農村環境を地域で守り、保全していくための体制づくりを支援します。
- ▶ 農地周り・水路・農道の草刈りや泥浚い、景観形成のための植栽、農業用施設の長寿命化に向けた補修・更新などの協働活動を支援し、農村振興を図ります。

【当該年度評価の総括】

1 農村地域の資源保全と地域コミュニティの発揮協働活動への支援

- ▶ 多面的機能支払に取り組む、活動組織 52 地区（うち広域活動組織 4 地区）の円滑な事業推進を支援するとともに、認定期間が終了する組織の活動継続を支援した。

◆ 農村地域の資源保全と地域コミュニティの発揮

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 地域資源の維持・保全が図られた農地面積 ----- 5,277 ha を支援	▶ 地域資源の維持・保全が図られた農地面積 ----- 4,619 ha を支援	B
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・活動組織に交付金が早期に交付できるよう速やかな事務処理を行った。 ・ほ場整備推進地区において活動取組を推進した。 ・市町村及び土地改良区と連携し認定期間が終了する地区を重点的にフォローアップした。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き、各活動組織の活動を支援するとともに、新規要望地区の活動開始、及び認定期間終了地区の再認定による活動継続に向けて関係市と連携して支援を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
多面的機能の維持・保全が図られた農業集落数 [集落]						
目 標	—	—	107	135(124)	180 (141)	180(161)
実 績	79	124	135	180	180	180
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積 [ha]						
目 標	—	—	3,483	3,753	4,610	5,277
実 績	2,583	2,829	3,545	4,610	4,612	4,619
地域構想づくり支援実施モデル地区数 [地区]						
目 標	—	—	1	1	→	1
実 績	1	1	1	1	3	3

※ 数値は、累計値。

※ 実績値が H31(R 元)目標値を超えた場合、次年度の目標値に前年度の実績値を標記し、当初目標値を括弧で標記。